

支援事例

商工会名	宇城市 商工会	氏名	平野 野平	情報開示の可否	可
支援テーマ	販路拡大・販路支援	題名	6次産業化による新商品の販路開拓支援と省力化を目指したIT支援および社員への事業承継を目指した伴走支援		
	農商工連携・6次産業				
	事業承継				

<支援企業の概要>

事業所名	(株)石井フルーツ	従業員	1人	創業/ 会社設立	創業日	2019年12月3日
業種	果物生産加工	うち家族従業員	0人		業歴	5年3ヶ月

○企業概要

九州の中央に位置する熊本県宇城市豊野町。山に囲まれた寒暖差のある自然環境の中で1928年より果物生産。特にシャインマスカットが好評で、県外のデパート等にも出荷。加工品についても自社製造でワイン、生搾りジュース、コンフィチュール、ドライフルーツなどを手掛けており、県外のレストランからも買い付けに來られている。シャインマスカットのセミドライレーズンを使用したレーズンサンドを新たに開発し、好評を博している。シーズン中は行列ができるほど混雑するため、省力化補助金の活用を検討している。後継者がいないため、親族外の事業承継を視野に入れた事業継続を目指している。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

4月の人事異動により挨拶に伺った際、社長のボヤキと試食を勧められた事がきっかけ。
「商売は順調なんだけど子供達は跡を継がないし、人手不足でてんでこ舞い。」
「新入社員が試行錯誤して作ったレーズンサンド、たいぎゃ美味かけん食べてみて！」
これらを掘り下げていき「①新商品の展開、②人手不足、③事業承継」の3つの課題が浮上。
会社自体は優良財政で商品力も高くブランドも築けている状態であった。
社長も60代とまだまだ現役で動けるため、先を見据えた伴走支援が必要と感じた。

○支援内容および支援後の状況・効果

①新商品の展開

- ・新商品の開発や改良について助言および専門家の派遣
- ・熊本県の事業「くまもとグッドプロダクト賞」へ参加し、都市圏での販売会や商談会への進出を目指す

②人手不足

- ・省力化投資補助金やIT導入補助金を活用した省力化支援

③事業承継

- ・親族外承継を目指し、意欲的な社員の育成について特任指導員と連携した支援

○今後について（目標や課題など）

支援を始めたばかりのため、まずは事業者との連携を深めつつ信頼関係を強固にする。
くまもとグッドプロダクト賞は一次審査を良好な成績で通過。最終審査での受賞およびブランド確立を目指す。
繁忙期の省力化も重要な課題であるため、1年後の設備投資に向けて経営計画の策定支援も変更して実施。
これらを特任指導員や事業承継引継ぎ支援センターと連携し、伴走方支援により事業の長寿命化を図る。